

# 神奈川県内の「かわらけ」集成（4）

中世研究プロジェクトチーム

過去3年間にわたって「かわらけ」の集成を行い、中世の都市域(鎌倉・小田原)を除く範囲の集成作業はひとまず終了した。しかし、県内における報告書の刊行状況は我々の集成作業のベースをはるかに上回っており、一度集成した地域でも軽視できない調査事例が報告され続けている。これらの重要な出土事例を看過して考察を進めることはできないため、今年度は引き続き集成の追加を掲載することとした。

追加分は来年度以降も逐次掲載していく予定であるが、地域ごとの集成は昨年度の掲載分で一段落ついている。ここでは、昨年度に掲載した地域(綾瀬市、大和市、海老名市、相模原市、平塚市、厚木市、伊勢原市、秦野市、松田町、清川村)を対象として、「かわらけ」の出土傾向をまとめてみたい。

以上にあげた市町村域で調査された遺跡は、松田町(松田城)と清川村(長福寺址)を除いて、相模川や境川の流域に形成された沖積地とそれを取り巻く段丘、丘陵地帯に所在している。多くの遺跡で調査範囲が限定されていることもあり、「かわらけ」が1点から数点といった出土事例が多い。また、遺構群の全体像がつかめる遺跡も少ない。こうしたなかで、綾瀬市宮久保遺跡、海老名市上浜田遺跡、相模原市新戸遺跡、平塚市豊田本郷遺跡・御所ヶ谷遺跡・阿弥陀畠遺跡、伊勢原市成瀬第二地区遺跡群、松田町松田城址などは、遺構・遺物が比較的豊富で、遺跡の性格がある程度明らかになっている。これらの遺跡における「かわらけ」の出土様相を検討することで、「かわらけ」の特質をある程度導き出すことができよう。

宮久保遺跡は目久尻川の右岸に形成された舌状台地上に位置する。大溝と柵列で囲まれた敷地内に掘立柱建物址や竪穴状遺構、井戸址などの遺構群が5箇所以上に分かれて展開するが、その中心は柵列による長方形の区画内に総柱の大型掘立柱建物を配した敷地南東部の屋敷地にあり、居住者は在地領主層クラスの武士が想定されている。また、この屋敷地の周囲に点在する小型の建物址は、家人や下人など従者の住居とみられる。調査範囲全体で61点の「かわらけ」が出土しているが、中心的な区画内の出土点数が35点あり、このうちの4点は大型の掘立柱建物址(SB23)を囲む溝(SD03)から出土した「非ロクロ成形(京都系)」のものである。この区画内からは中国製陶磁器や国内諸窯の陶器がまとまって出土しており、中世前期における在地領主層の居館の様相を良好に示す遺跡と言える。遺跡一帯は中世の渋谷荘に含まれており、これらの遺構群は渋谷荘の支配者であった渋谷氏一族の居館跡と理解されている。遺跡の存続年代は12世紀中葉から14世紀とされているが、「かわらけ」は13世紀前半代のものにまとまりがある。

上浜田遺跡も目久尻川の流域に所在する遺跡で、宮久保遺跡と距離的に近く、同じく中世の渋谷荘内にある。谷戸の西側斜面を造成した上下二段の削平面上に、総柱の掘立柱建物址を中心とする遺構群が配置されている。その西側の丘陵上には、馬の放牧場と想定される断面箱築研状の溝による6箇所ほどの区画が認められ、農事にも関わる武士の居館跡と推定されている。「かわらけ」の出土点数は29点で、このうちの28点は建物群が所在する削平面上の出土である。また、この削平面上からは高麗青磁と青白磁の梅瓶を含む舶載陶磁器や国産陶器がまとまって出土しており、居住者の階層を示唆している。遺跡の存続年代は13世紀中葉～15世紀前半代とされているが、これらの「かわらけ」も年代的には14世紀代にまとまりがある。

新戸遺跡は相模川東岸の河岸段丘上に所在する遺跡で、年代的には13世紀後葉から14世紀中葉と推定される。調査範囲の西側で掘立柱建物址を中心とする遺構群が密集して発見され、復元された掘立柱建物址は159棟を数える。ただし、建物址の大部分は桁行2～3間×梁間1間、面積20m<sup>2</sup>以下の小規模なもので占められており、梁間2間以上の総柱建物は15棟に過ぎない。これらの建物址は8箇所ほどに集中しており、その集中箇所は掘立柱建物址数棟と竪穴状遺構を単位とする一軒の屋敷地と理解されているが、敷地には明確な区画施設が認められない。中世遺構群に伴う「かわらけ」はわずかに8点で、陶磁器の出土量もきわめて少ない。こうした遺構・遺物のあり方は上記の2遺跡と明らかな格差がみられ、この遺跡の中世遺構群は一般的な村落跡の一部と考えられる。

豊田本郷遺跡は相模川西岸の沖積地（自然堤防・後背湿地）に所在する遺跡である。道路幅の調査であり、発見された遺構の様相から遺跡の性格を特定することは難しいが、直角に折れ曲がる中世後期の大規模な溝が確認されている。調査範囲内における溝の規模は、幅4m・深さ1mである。この溝による区画内に明確な掘立柱建物址は発見されていないが、多数のピットが検出されており、中世後期の大溝（堀）に囲まれた居館跡と推定される。個々の遺構に伴う「かわらけ」は1点から数点程度であるが、遺跡全体では117点の「かわらけ」が出土しており、中世後期に城館跡で「かわらけ」の出土量が大幅に増加する傾向とよく符号するものと言える。

御所ヶ谷遺跡は伊勢原台地の南端部に所在する遺跡である。溝で区画された敷地内から総柱の大型掘立柱建物址と小型の掘立柱建物址が各1棟発見されており、居住者の階層は明確でないが、上層農民以上の屋敷地と推定される。遺跡全体で77点の「かわらけ」が出土しているが、このうちの60点は屋敷地の北東側に隣接する「御所塚」からの出土である。この塚は墳丘をほとんど失った古墳とみられ、中世後期に塚の周囲で何らかの祭祀、または葬送儀礼などが行われた可能性が想定される。

阿弥陀畠遺跡は大磯丘陵の東側裾部に所在する中世墓地である。谷戸の東側斜面を造成した削平面上から五輪塔群2ヶ所、積石塚墓3基、土壙墓19基、配石墓18基が発見されており、年代的には板碑の紀年銘や五輪塔の形態から14世紀初頭から15世紀代と推定されている。「かわらけ」は積石塚墓の墳丘を中心に13点出土しているが、ほぼ半数に油煙の付着が観察されており、それらの多くは墓前祭祀等で灯明皿として使用されたものと考えられる。

成瀬第二地区遺跡群は伊勢原台地上に所在し、中世の丸山城跡の範囲を含む広大な遺跡群である。丸山城跡では以前から土壙などが地表面上で確認されていたが、近年の発掘調査で大規模な堀や土壙、土橋状施設が発見され、戦国期を中心とする城跡であることが判明した。試掘調査では65点の「かわらけ」が出土しており、城跡全体では相当な量になることが予測される。

松田城跡も15世紀後半代を中心とする山城である。12,000m<sup>2</sup>におよぶ調査面積に比べて、「かわらけ」の出土点数は33点であり、決して多くはない。しかし、調査範囲は城域南端の階段状に造成された帶曲輪部分であり、城郭内の主たる居住空間ではない。主郭などの中心部では、これ以上の「かわらけ」が出土するものと想定される。

以上にあげた7遺跡のうち、宮久保遺跡と上浜田遺跡は在地領主層クラスの武士の屋敷地として大過ないと思われる。両者は遺跡の存続時期に若干の差があるが、重なる部分も多い。また、「かわらけ」の出土点数も大差なく、在地領主層の「かわらけ」の消費形態を示唆するものと言えよう。しかし、「かわらけ」が出土すると言っても、両遺跡ともにおよそ200年間と想定される居館の存続年代に比べて、「かわらけ」が示

す使用年代の中心はそのうちの半世紀程度に限られており、継続的に使用されていたとは考えづらい。おそらく、日常的にはほとんど使われず、何らかの機会に「かわらけ」が一過性に使用されたものとみられる。このようなあり方を、「かわらけ」が恒常に大量消費される都市域とも、また後述する中世後期の城跡のあり方とも異なる、中世前期における在地領主居館の様態として抽出できるのではないだろうか。

一方、松田城跡と丸山城跡（成瀬第二地区遺跡群）は中世後期の城跡であり、この他に厚木市七沢神出遺跡も七沢城跡の一部として同様の性格をもつと推定される。また、不明な点が少なくないが、豊田本郷遺跡も外周に堀をめぐらせた中世後期の方形居館として、これに準ずる性格を与えてよいと思われる。中世後期における武家儀礼の普及・定着と「かわらけ」の大量使用が密接に関わることはたびたび指摘されており、県内でも中世後期の城跡で出土事例や出土量が多いことは一昨年度にも触れた。上記のように「かわらけ」が何らかの機会に一時的に使用される中世前期の在地領主居館のあり方と、武家儀礼に従ってさまざまな儀式や年中行事などで消費される中世後期の城館跡では、「かわらけ」の出土様相にも何らかの差が生じているものと予測される。現状では、そこまでの追求はできないが、今後こうした視点での分析・検討が必要とされよう。なお、御所ヶ谷遺跡も中世後期を中心とする屋敷地であるが、「かわらけ」の大部分は塚からの出土であり、葬送儀礼や何らかの祭祀に関わって使用されたとみる方が妥当であろう。

この他、平塚市四之宮下郷遺跡やその周辺の沖積微高地上に展開する遺跡（高林寺遺跡、林B遺跡など）でも、「かわらけ」が出土している。調査地一箇所ごとの出土点数は少ないが、範囲を広くとってまとめてみれば相当な点数になるものと推測される。陶磁器類も少なからず出土しており、中世村落の存在が想定されるが、これまでの調査では掘立柱建物址や井戸址など明確な居住関連施設は検出されていない。昨年度に触れた相模川対岸の茅ヶ崎市域南部では、沖積微高地上に立地する中世の村落遺跡が数多く発見されている。平塚市四之宮周辺は古代の相模国府や大住郡家の所在が想定され、早くから開発が及んだ地域であり、中世においても茅ヶ崎市域と同様な様相をもつものと予測されるが、不明確な部分が多く、はっきりしたことは言えないのが現状である。

以上のように、昨年度集成した地域において比較的まとまって「かわらけ」が出土した遺跡に関しては、①在地領主層の居館跡、②城館跡、③葬送儀礼ないしは祭祀等の宗教色の強い場、とそれぞれの性格を想定することが可能である。出土点数が少ない他の遺跡についても、このような性格をもつ遺跡の一部を調査した結果が多いのではないかと推測される。

しかし、①～③における「かわらけ」の使用は中世全般を通じて認められるわけではなく、時間的な消長を伴うことが一般的である。すなわち、中世前期においては「かわらけ」が都市域で大量に消費される一方で、在地領主層の居館（①）では恒常的な使用がなされず、一過性に一定量が使用される。しかし、中世後期になると、都市部で前代と同様に大量消費されるとともに、新たに出現した城館（②）でも儀式や儀礼的な酒宴で一定量以上の「かわらけ」が頻繁に使われるようになる。また、この時期には葬送儀礼や祭祀等（③）に伴う宗教容器としての使用も普及・定着する。

ところで、ある程度面的な調査が行われ、掘立柱建物址などの居住施設は確認されるが、「かわらけ」がほとんど出土しない遺跡も存在する。新戸遺跡をその典型としてとらえうるが、このような遺跡を部分的に調査すれば、中世の遺構は存在するが、「かわらけ」はほとんどないということになる。溝や土坑、並ばないピット群などで構成される中世遺跡の報告事例が多いが、そこには都市ではなく、①～③にも当てはまらない、一般村落のあり方が示されているのではないだろうか。

### 例 言

1. 本集成は、1997年1月以降、1999年9月まで刊行された遺跡発掘調査報告書に基づき、神奈川県内出土の「かわらけ」を集成したものである。

2. 集成表の項目は次の通り。

(1)番 号：表は遺跡ごとの集成である。遺跡番号は昨年度分から引き続いており、図版の番号に対応している。

(2)遺 跡 名：引用文献記載の遺跡名を示す。

(3)所 在 地：引用文献記載の所在地を示す。

(4)出土遺構：「かわらけ」が出土した遺構名を示す。

(5)出土点数：引用文献の図版に掲載されているもの、および文中に数量の記載があるものを合計した。

(6)伴出遺物：引用文献記載の伴出遺物を示す。収録にあたって名称を統一した。

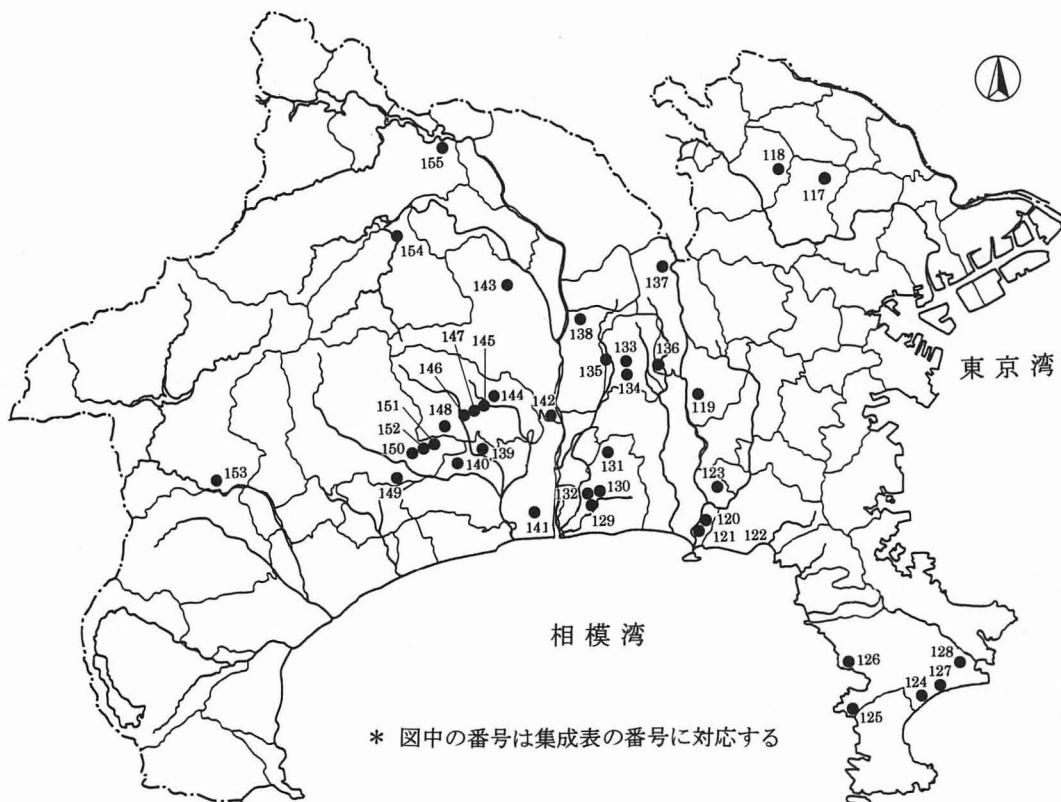
(7)文献番号：文献一覧の番号に対応する。番号は昨年度分から引き続いている。

3. 図版については次の通り。

(1)縮尺 1/6

(2)実測図右側の数字は上から、口径・底径・器高を示す。なお、文献中図版のみで、法量記載のないものについては省略した。

(3)図版は当該文献からの引用であるが、収録にあたり再トレースを行っている。



第1図 かわらけ出土遺跡分布図

神奈川県内のかわらけ出土遺跡一覧表（補遺）

番号	遺跡名	所在地	出土遺構	出土点数	伴出遺物	文献番号
117	西ノ谷遺跡	横浜市都筑区南山田2丁目	床面	4	常滑窯甕, 三河系鉢	114
			9-H	3	白磁蓋, 龍泉窯系青磁劃花文碗, 渥美窯甕, 羽釜	
			9-I	2	白磁合子, 龍泉窯系青磁劃花文碗・蓮弁文碗・皿, 常滑窯三筋壺	
			10-I	5	白磁碗・皿, 青磁碗, 常滑窯鉢・三筋壺・甕, 渥美窯鉢・片口鉢・甕	
118	関耕地遺跡	横浜市青葉区荏田字関耕地231他	1号堅坑	1		115
119	中ノ宮北遺跡	横浜市泉区和泉町3217	道路状遺構	4	瀬戸窯擂鉢, 常滑窯片口鉢・甕, 渥美窯甕, 東播系陶器	116
120	川名森久地区 遺跡群	藤沢市川名264	1号やぐら	2		117
			2号やぐら	19	陶器壺	
			3号集石	1		
			4号集石	3		
			5号集石	1		
121	大源太遺跡	藤沢市片瀬1-1-1	A~Cトレント	4		118
122	片瀬大源太遺跡	藤沢市片瀬1-1-1	遺構外	1		119
123	本在寺遺跡	藤沢市小塚字本在寺817-1	方形土壙1	2	瀬戸窯天目茶碗	120
			土壙1	1		
			Pit 53	2		
124	大町谷東遺跡	横須賀市津久井72	96-2A地点遺構外	2	瀬戸美濃窯擂鉢, 常滑窯甕	121
			96-2C地点遺構外	1	羽釜	
			遺構外	1	羽釜	
125	長浜ノ上遺跡	横須賀市長井4	遺構外	1		122
126	十二所神社遺跡	横須賀市芦名1-18~21先	S C	2	渥美窯甕	123
			T P I	1		
			T P L	1		
			10区	2		
127	長岡南遺跡	横須賀市長沢2-9	Bトレント	2	青磁鉢	123
128	八幡神社遺跡	横須賀市久里浜2-11-1	W地区	1	瀬戸美濃窯長石釉皿・折縁皿, 常滑窯甕	123
129	矢畠金山遺跡	茅ヶ崎市矢畠字金山46	豎穴状遺構	3	龍泉窯系青磁鉢, 瀬戸窯天目茶碗	124
			1号溝状遺構	2	龍泉窯系青磁蓮弁文碗・鉢・碗, 瀬戸窯灰釉皿, 瀬戸美濃窯灰釉皿・擂鉢, 常滑窯片口鉢・甕か鉢	
			2号溝状遺構	1		
			遺構外	1		
130	西久保広町遺跡	茅ヶ崎市西久保846他	1号溝状遺構	2	備前窯擂鉢	125
131	臼久保遺跡	茅ヶ崎市芹沢字臼久保4222他	遺構外	3	龍泉窯系青磁蓮弁文碗, 瀬戸窯灰釉折縁皿・縁釉皿, 常滑窯片口鉢	126
132	上ノ町・広町 遺跡	茅ヶ崎市西久保1528	第2区遺構外	1		127
			第3区第14号土坑	3		
			第4区ピット99	1		
			第6区第2号溝状遺構	1	瀬戸美濃窯灰釉碗, 尾張系羽釜	
			第6区第3号土坑	1	尾張系羽釜	
			第8区第2号井戸址	2		

番号	遺跡名	所在地	出土遺構	出土 点数	伴出遺物	文献 番号
133	早川城跡	綾瀬市早川字清水 934	堀	2		128
			1号柱穴列	1	瓦質火鉢	
134	びわみ堂遺跡	綾瀬市深谷字落合 1145	I-1T	1		128
			II-2T	1		
			II-3T	3		
135	長泉寺遺跡	綾瀬市早川字祖師 谷3188	2号集石	8	瀬戸窯褐釉壺, 常滑窯三筋壺・壺, 湿美窯刻文壺	128
136	神明若宮地区内遺跡	大和市福田510外	第1号溝状遺構	16	明染付小杯, 瀬戸美濃窯天目茶碗・鉄釉碗・志野皿・志野向付・灰釉皿・鉄釉稜皿・擂鉢, 美濃窯織部皿, 唐津碗	129
			第2号溝状遺構	5		
			第1号掘立柱建物址	4		
			第2号掘立柱建物址	1		
			第4号掘立柱建物址	1		
			第1号井戸址	2	瀬戸美濃窯灰釉皿・擂鉢, 唐津皿	
			第2号井戸址	3	瀬戸美濃窯灰釉皿・擂鉢, 唐津皿	
			第3号井戸址	12	瓦質風炉	
			第2号地下式坑	1	瀬戸窯灰釉卸皿, 瀬戸美濃窯天目茶碗	
			第3号地下式坑	2		
			第1号土坑	4		
			第3号土坑	1		
			第9号土坑	1		
			第11号土坑	3		
			第12号土坑	1		
			第13号土坑	1		
			第16号土坑	1		
			第2号ピット	1		
			第5号ピット	1		
			第9号ピット	1		
			第13号ピット	1		
			P-2グリッド	2		
			P-3・4グリッド	6		
			P-6グリッド	1		
			Q-3グリッド	1		
			S-2グリッド	1	瀬戸美濃窯鉄釉碗	
			T-2グリッド	2		
			試掘第3トレンチ	4		
			試掘第4トレンチ	2		
			遺構外	5	唐津皿・鉢, 常滑窯甕	
137	下鶴間城山遺跡	大和市下鶴間甲四 号722-2他	第1地下式坑	1		130
			第20号ピット	1		
138	国分尼寺北方 遺跡	海老名市国分寺北 3032-1	第7次遺構外	1	同安窯系青磁碗, 青白磁碗, 瀬戸窯灰釉卸皿	131
139	山王久保遺跡 第8地点	平塚市岡崎字山王 久保3673	1号竪穴住居址	3	青磁碗, 陶器甕・擂鉢	132
			10号土坑	3		
			16号土坑	1		
			24号土坑	2		
			35号土坑	1		

番号	遺跡名	所在地	出土遺構	出土点数	伴出遺物	文献番号
140	真田・北金目遺跡	平塚市北金目 1422・1423	1区SS003	2	龍泉窯系青磁劃花文碗・蓮弁文碗, 山茶碗, 山茶碗窯系片口鉢・常滑窯甕	133
			1区SX001	1	青磁碗, 山茶碗窯系片口鉢, 常滑窯甕	
			1区遺構外	4	白磁碗, 龍泉窯系青磁劃花文碗・蓮弁文碗・双魚文鉢, 山茶碗窯系片口鉢, 常滑窯片口鉢・甕	
141	高林寺遺跡第12地点	平塚市四之宮字諫訪前445-8	3号溝状遺構	2	陶器甕	134
142	愛甲宿遺跡第2地点	厚木市愛甲宿1066	SX-02	1		135
			SX-07	1	瀬戸美濃窯小壺, 常滑窯片口鉢	
			SD-03	1	龍泉窯系青磁蓮弁文碗・輪花皿	
143	中荻野成井田遺跡	厚木市荻野1633	第9号土壤	2		136
144	東富岡・北三間遺跡(No.4)	伊勢原市東富岡字北三間407	4-1区遺構外	1	白磁碗・皿・四耳壺, 龍泉窯系青磁劃花文碗・蓮弁文碗・鉢, 山茶碗・山茶碗窯系片口鉢, 瀬戸窯灰釉綠釉皿・灰釉片口鉢, 瀬戸美濃窯擂鉢, 常滑窯片口鉢・甕, 渥美窯甕・壺, 備前窯擂鉢, 瓦質火鉢	137
			4-3区遺構外	1	白磁碗・皿, 龍泉窯系青磁劃花文碗・蓮弁文碗, 山茶碗窯系片口鉢, 魚住窯片口鉢, 備前窯甕, 伊勢系土鍋	
145	上柏屋・〆引北遺跡(No.11)	伊勢原市上柏屋字北〆引907他	1号堀	4	明染付皿, 瀬戸窯小壺, 常滑窯片口鉢・甕, 猿投窯片口鉢, 瓦質火鉢	138
			1号掘立柱建物址	1		
			2号堅穴状遺構	1	瀬戸窯片口鉢, 常滑窯片口鉢	
			9号堅穴状遺構	5	常滑窯片口鉢・甕, 魚住窯片口鉢, 伊勢系土鍋	
			10号堅穴状遺構	6	山茶碗・山茶碗窯系片口鉢, 伊勢系土鍋	
			11号堅穴状遺構	8	白磁口禿皿, 龍泉窯系青磁蓮弁文碗, 山茶碗窯系片口鉢, 瀬戸窯灰釉菊皿・灰釉壺, 常滑窯甕	
			13号堅穴状遺構	2	山茶碗窯系片口鉢	
			14号堅穴状遺構	6	青白磁合子蓋, 龍泉窯系青磁劃花文碗, 山茶碗窯系片口鉢	
			5号道	1	山茶碗窯系片口鉢, 瀬戸窯擂鉢, 瀬戸美濃窯鉄釉小壺, 常滑窯甕	
			2号溝	4		
			25号土坑	2		
			37号土坑	1	瀬戸美濃窯擂鉢, 常滑窯甕	
			ピット群	2		
			遺構外	7	白磁口禿皿・壺, 龍泉窯系青磁蓮弁文碗, 瀬戸窯碗・灰釉折縁小皿・擂鉢・壺, 常滑窯片口鉢・甕, 渥美窯壺・甕, 魚住窯片口鉢	
146	上柏屋・〆引西遺跡(No.12東)	伊勢原市上柏屋字西〆引803他	遺構外	2	魚住窯片口鉢	138
147	三ノ宮・下御領原遺跡(No.12西)	伊勢原市大字三ノ宮字中初川988-1他	第1号礫集中	4	龍泉窯系青磁劃花文碗・蓮弁文碗	139
			遺構外	1		
148	神戸・上宿遺跡(No.15)	伊勢原市神戸字両毛703-5他	C31号土坑	1		140
			C1035号ピット	1		
			C1077号ピット	1		
			1区遺構外	1	白磁口禿皿, 同安窯系青磁皿, 龍泉窯系青磁劃花文碗・蓮弁文碗, 山茶碗窯系片口鉢, 瀬戸窯灰釉卸皿・灰釉袋物, 瀬戸美濃窯擂鉢, 常滑窯片口鉢	
			2区遺構外	3	青磁碗, 瀬戸美濃窯内禿皿, 常滑窯甕	

番号	遺跡名	所在地	出土遺構	出土点数	伴出遺物	文献番号
149	中里遺跡 (No.31)	秦野市上大槻字芦沢509-1他	遺構外	2	白磁端反碗, 龍泉窯系青磁劃花文碗・蓮弁文碗, 濱戸窯片口鉢, 常滑窯甕, 渥美窯甕, 山茶碗窯系片口鉢, 伊勢系土鍋	141
150	小南遺跡 (No.28)	秦野市南矢名字小南上2155-1他	K 7号溝及びK 1~11号土坑	1	同安窯系青磁碗, 濱戸窯灰釉碗・折縁皿, 濱戸美濃窯灰釉碗, 常滑窯甕	142
			遺構外	3		
151	北矢名蛇久保遺跡 (No.25下)	秦野市鶴巻字新野2289-3他	C 3号堅穴状遺構	1		143
			C 4号堅穴状遺構	1	常滑窯甕, 瓦質土器	
			C 2号地下式坑	1	常滑窯甕, 瓦質火鉢	
			C 15号溝状遺構	1		
			遺構外	1	青磁碗, 濱戸窯縁釉皿・灰釉瓶	
152	鉢ノ木遺跡 (No.27)	秦野市北矢名字田中234他	遺構外	15	白磁碗・皿, 同安窯系青磁碗, 龍泉窯系青磁劃花文碗・蓮弁文碗, 青白磁合子身, 美濃窯山茶碗, 濱戸窯灰釉皿, 常滑窯片口鉢・甕, 渥美窯甕, 備前窯擂鉢, 滑石製石鍋, 瓦質火鉢	144
153	河村城跡第VI地点	山北町岸字土佐屋敷2708	S B 0 4	1	常滑窯甕	145
			第2トレンチ	1	白磁碗・青磁碗	
			第5トレンチ	1		
			第8トレンチ	2	青磁片	
			第9トレンチ	2		
			第12トレンチ	5		
			第16トレンチ	2	擂鉢片	
			第28~31トレンチ	8		
			第34トレンチ	2		
			不明	1		145
154	馬場遺跡 (No.6)	愛甲郡清川村宮ヶ瀬字馬場1330他	北側斜面遺物包含層	2	白磁皿, 龍泉窯系青磁蓮弁文碗・碗, 明染付, 山茶碗, 濱戸美濃窯灰釉碗・天目茶碗・端反皿・折縁深皿・片口鉢・擂鉢・壺・徳利, 志戸呂窯皿	146
155	津久井城跡	津久井郡津久井町根小屋字城坂233	遺構外	17	白磁碗, 明染付碗, 中国製陶器碗, 濱戸美濃窯皿・擂鉢, 唐津皿	147
			1号土坑群	1		148
			礫溜り	5	濱戸美濃窯皿	
			B-5区	2	濱戸美濃窯灰釉皿・擂鉢	
			D-3・4区	2	明染付, 常滑窯甕	
			3号トレンチ	1		149
			4号トレンチ	1		
			11号トレンチ	1		
			1号堀	4		150

## 文献一覧

- 114 財団法人横浜市ふるさと歴史財団・横浜市教育委員会 1997「西ノ谷遺跡」『港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告』23
- 115 観福寺北遺跡発掘調査団 1997「横浜市観福寺北遺跡群 関耕地遺跡発掘調査報告書」
- 116 財団法人横浜市ふるさと歴史財団 1999『中ノ宮遺跡発掘調査報告書』
- 117 川名森久地区遺跡発掘調査団 1996『藤沢市川名森久地区埋蔵文化財発掘調査報告書』II
- 118 大源太遺跡発掘調査団 1997『藤沢市No.11(大源太)遺跡確認調査報告書』
- 119 大源太遺跡発掘調査団 1997『片瀬大源太遺跡確認調査報告書』
- 120 藤沢市教育委員会 1998『藤沢市文化財調査報告書』第33集
- 121 横須賀市教育委員会 1998「埋蔵文化財発掘調査概報集VI」『横須賀市文化財調査報告書』第32集
- 122 横須賀市教育委員会 1999「長井台地遺跡群 長浜ノ上遺跡」『横須賀市文化財調査報告書』第7集
- 123 横須賀市教育委員会 1999「埋蔵文化財発掘調査概報集VII」『横須賀市文化財調査報告書』第33集
- 124 茅ヶ崎市埋蔵文化財調査委員会・鎌茅ヶ崎市文化振興財団 1997『上ノ町・広町遺跡』
- 125 茅ヶ崎市教育委員会 1998「矢畠金山遺跡VI」『茅ヶ崎市文化財調査報告』10
- 126 茅ヶ崎市教育委員会 1998「西久保広町遺跡」『茅ヶ崎市文化財調査報告』11
- 127 かながわ考古学財団 1999「臼久保遺跡」『かながわ考古学財団調査報告』60
- 128 早川城址調査会 1997『早川城址調査報告書』
- 129 神明若宮地区内遺跡発掘調査団 1997『神明若宮地区内遺跡』
- 130 大和市教育委員会 1998「下鶴間城山(伝山中修理助貞信壘跡・大和市No.181遺跡)」『大和市文化財調査報告書』第66集
- 131 国分尼寺北方遺跡調査団 1996『国分尼寺北方遺跡－第7次・第8次調査－』
- 132 平塚市教育委員会 1998「山王久保遺跡他」『平塚市埋蔵文化財シリーズ』31
- 133 平塚市真田・北金目遺跡調査会 1999『平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書』1
- 134 平塚市教育委員会 1999「高林寺遺跡他」『平塚市埋蔵文化財シリーズ』33
- 135 愛甲宿遺跡第2地区発掘調査団 1998『愛甲宿遺跡第2地区』
- 136 国道412号線遺跡発掘調査団 1998『中荻野成井田遺跡』
- 137 かながわ考古学財団 1998「東富岡・杉戸遺跡(No.38), 東富岡北三間遺跡(No.4), 上粕屋・川上遺跡(No.5・6), 上粕屋・三本松遺跡(No.7), 上粕屋・川上西遺跡(No.8)」『かながわ考古学財団調査報告』34
- 138 かながわ考古学財団 1998「上粕屋・上尾崎遺跡(No.10), 上粕屋・〆引北遺跡(No.11), 上粕屋・〆引西遺跡(No.12東)」『かながわ考古学財団調査報告』56
- 139 かながわ考古学財団 1999「上粕屋・小山遺跡(No.9・39), 三ノ宮・下御領原遺跡(No.12西), 上粕屋・〆引東遺跡(No.40)上粕屋・〆引南遺跡(No.41)」『かながわ考古学財団調査報告』52
- 140 かながわ考古学財団 1999「神戸・上宿遺跡(No.15)」『かながわ考古学財団調査報告』57
- 141 かながわ考古学財団 1997「中里遺跡(No.31), 西大竹上原遺跡(No.32)」『かながわ考古学財団調査報告』30
- 142 かながわ考古学財団 1997「小南遺跡(No.28), 東北久保・鳥居松遺跡(No.29)」『かながわ考古学財団調査報告』23
- 143 かながわ考古学財団 1998「不弓引遺跡(No.21・22), 鶴巻大椿遺跡(No.32), 鶴巻上ノ窪遺跡(No.25上), 北矢名南蛇久保遺跡(No.25下), 北矢名矢際遺跡(No.26)」『かながわ考古学財団調査報告』32
- 144 かながわ考古学財団 1999「鉢ノ木遺跡(No.27)」『かながわ考古学財団調査報告』54
- 145 山北町河村城関連遺跡調査会・山北町教育委員会 1996『河村城関連遺跡(河村城関連遺跡詳細分布調査報告書)』
- 146 かながわ考古学財団 1995「宮ヶ瀬遺跡群V馬場(No.6)遺跡」『かながわ考古学財団調査報告』4
- 147 津久井城遺跡調査会・津久井城遺跡調査団 1997『津久井城の調査』I
- 148 津久井城遺跡調査会・津久井城遺跡調査団 1997『津久井城の調査』II
- 149 津久井城址調査団 1998『津久井城』
- 150 近藤英夫・小柳美樹他 1999「津久井町津久井城址御屋敷址」『第23回神奈川県遺跡調査・研究発表会発表趣旨』  
神奈川県考古学会

117. 西ノ谷遺跡

床面

9-I

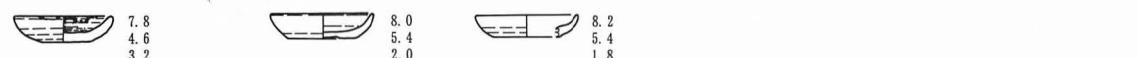


10-I



118. 関耕地遺跡

1号竪坑



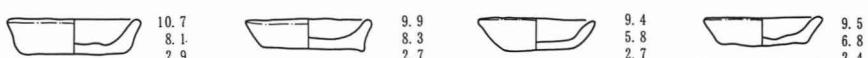
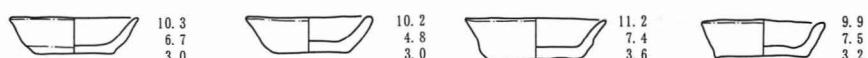
119. 中ノ宮北遺跡

道路状遺構



120. 川名森久地区遺跡群

1号やぐら



3号集石

4号集石

5号集石



121. 大源太遺跡

A~Cトレンチ



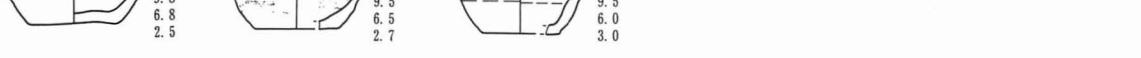
122. 片瀬大源太遺跡

遺構外

123. 本在寺遺跡

方形土壙1

土壙1

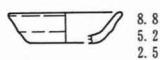


## 125. 長浜ノ上遺跡

遺構外



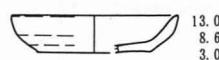
T P I



T P L



10区



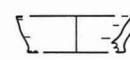
## 127. 長岡南遺跡

Bトレンチ



## 129. 矢畠金山遺跡

竪穴状遺構

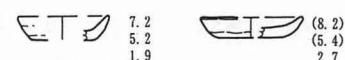


2号溝状遺構



## 130. 西久保広町遺跡

1号溝状遺構



## 128. 八幡神社遺跡



1号溝状遺構

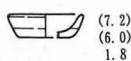


遺構外



## 131. 白久保遺跡

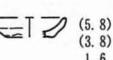
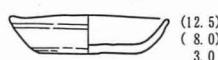
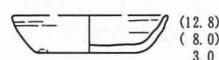
遺構外



## 132. 上ノ町・広町遺跡

第2区遺構外

第3区第14号土坑



第4区ピット99



第6区第2号溝状遺構



第6区第3号土坑



第8区第2号井戸址



## 133. 早川城跡

堀



## 134. びわみ堂遺跡

I-1T



II-2T



1号柱穴列

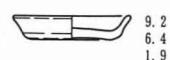
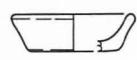
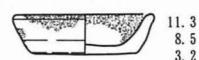


II-3T



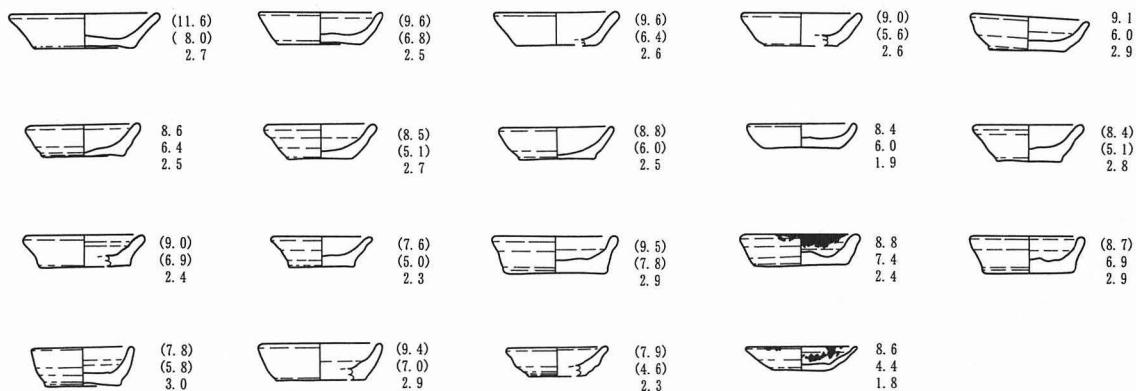
## 135. 長泉寺遺跡

2号集石



136. 神明若宮地区内遺跡

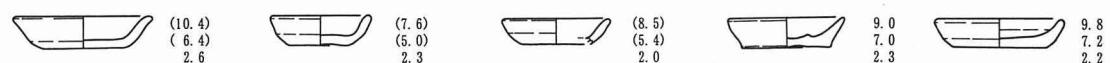
第1号溝状遺構



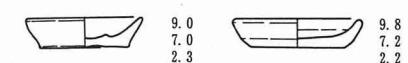
第2号溝状遺構



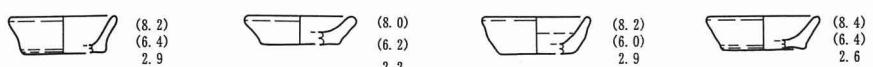
第1号掘立柱建物址



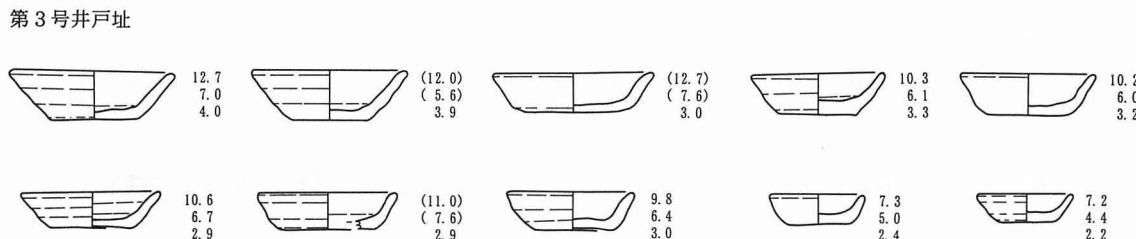
第2号掘立柱建物址



第1号井戸址



第2号井戸址



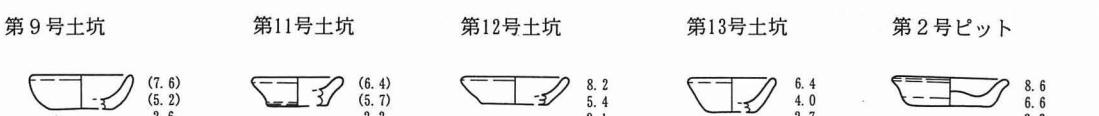
第1号土坑



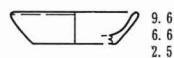
第3号地下式坑



第3号土坑



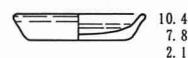
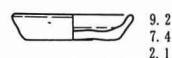
第5号ピット



第9号ピット



第13号ピット



P-3・4グリッド



Q-3グリッド



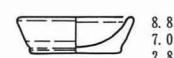
S-2グリッド



T-2グリッド



試掘第3トレンチ



試掘第4トレンチ

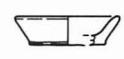


遺構外



## 137. 下鶴間城山遺跡

第1地下式坑



第20号ピット



## 138. 国分尼寺北方遺跡

第7次遺構外

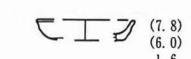


## 139. 山王久保遺跡第8地点

1号竪穴住居址



第20号ピット



24号土坑

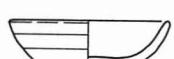


35号土坑



## 140. 真田・北金目遺跡

1区SX001



1区遺構外



24号土坑



## 141. 高林寺遺跡第12地点

3号溝状遺構

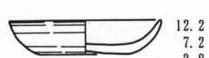


## 142. 愛甲宿遺跡第2地点

SX-02



SX-07

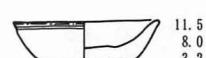


SD-03



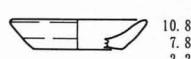
## 143. 中荻野成井田遺跡

第9号土壙



## 144. 東富岡・北三間遺跡(No.4)

4-1区遺構外



## 145. 上粕屋・沢引北遺跡(No.11)

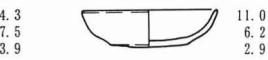
1号堀



1号掘立柱建物址



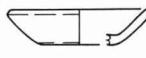
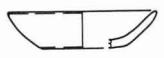
9号竪穴状遺構



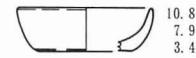
10号竪穴状遺構



11号竪穴状遺構



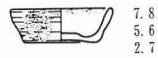
13号竪穴状遺構



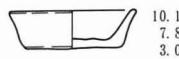
14号竪穴状遺構



5号道



2号溝



37号土坑



ピット群



遺構外



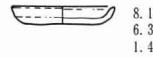
146. 上粕屋・〆引西遺跡 (No.12東)

遺構外

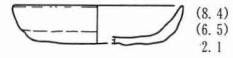


147. 三ノ宮・下御領原遺跡 (No.12西)

第1号礫集中



遺構外

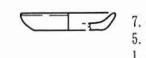


148. 神戸・上宿遺跡 (No.15)

C31号土坑



C1035号ピット



C1077号ピット



2区遺構外



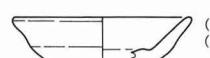
149. 中里遺跡 (No.31)

遺構外

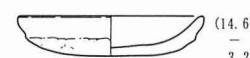


150. 小南遺跡 (No.28)

K7号溝及びK1~11号土坑



遺構外



151. 北矢名蛇久保遺跡 (No.25下)

C3号竪穴状遺構



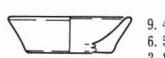
C4号竪穴状遺構



C2号地下式坑



C15号溝状遺構



遺構外

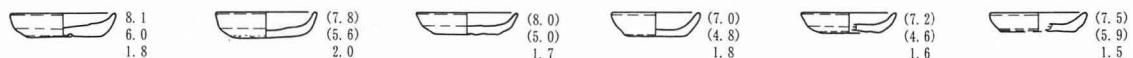


152. 鉢ノ木遺跡 (No.27)

遺構外



0 10cm



## 153. 河村城跡第VI地点

S B 0 4

第2トレンチ

第5トレンチ

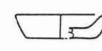
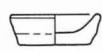
第8トレンチ



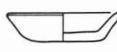
第9トレンチ



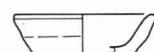
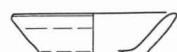
第12トレンチ



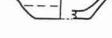
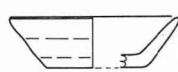
第16トレンチ



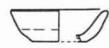
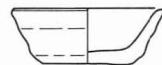
第28~31トレンチ



第34トレンチ

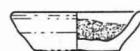


不明



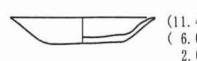
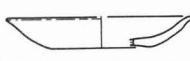
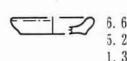
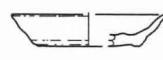
## 154. 馬場遺跡(No. 6)

北側斜面遺物包含層



## 155. 津久井城跡

遺構外



1号土坑群

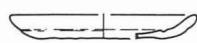
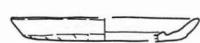


礫溜り

B - 5 区



1号堀



0 10cm